

津堅小中だより 4号

ビティ島十和顔愛語

【ワッター島】

【いい顔、いい言葉、いい心】

令和3年6月18日
校長 田場 勝

児童生徒、職員

学びは、止めない！止まらない！

緊急事態宣言が発令され、津堅小中学校の児童生徒及び職員が、島民の方々と触れ合う事をできる限り控え無いといけないという事がとても心苦しく残念で仕方ありません。緊急事態宣言発令に伴い現在は、うるま市の小中学校では18日まで休校となっています。もちろん、職員は通常通りの勤務で職務を遂行しています。

さて、津堅小中学校の現状をご紹介します。緊急事態宣言発令にさいし、学校は、児童生徒の保護者に直接連絡し、どうするかを一人一人確認しました。すると、保護者としては、島内が安全であるので「授業を継続していただきたい。」というご返答でした。そこで、学校は、区長とも相談し、これまで通りに学校内での感染対策をしっかり継続する。そして、保護者へ通知文を出し、同意書の提出をしていただくという事で、最終決定し、現在にいたっています。子ども達の学びは止めないという、保護者や津堅区の意向に添って教育活動を実施しています。給食は、小中別々の部屋で、担任のみと一緒に食事する。他の担任外の職員は、それぞれの場所で給食をいただいています。とにかく、三密を避け、手指消毒や手洗い、マスク着用、換気等を心がけて全ての教育活動を実施しています。しかし、今はもう誰が感染するか分からない現状ですので、万が一誰かがコロナウィルスに感染したら、津堅小中学校も休校せざる終えないと考えています。家庭内感染も考えられる事から、週末や祝祭日に、本島に帰る児童生徒や保護者には、十分な感染対策をお願いしております。もちろんそれは職員も同じです。さらに、職員においては、外部の方との接触をできるだけ控えると同時に、午後3時の最終船で本島に渡り、連日与那城公民館へ移動し、研修会やその他会議を実施しています。

つまり、現在の緊急事態宣言下ではありますが、児童生徒、職員の学びは止めないし、止まっています。どうかご理解をよろしくお願いします。以下には、緊急事態宣言前後の学校での様子をご紹介します。

<自宅とオンライン授業>



パソコン画面には、先生と児童の顔が写ります



先生の問いに対し、直接解答します



<マナー講習会>



講師の「山内真央」先生
(グッジョブ沖縄)

<先生の授業研究>



小学校の道徳



中学1・2年生の学活

最終船の午後3時船に乗り、与那城公民館へ移動し、毎日研修や会議を実施しています。授業研究の振り返りの様子です。

<ものづくり体験教室>



中学3年生の理科



沖縄県職業能力開発協会より、「手登根修さん、嵩原秀明さん、比嘉良邦さん」をお招きし、木工職人としての熱い想いを語っていただく進路指導と同時に、本棚づくりを行ないました。出来上がった作品に皆満足そうな顔をしていました。